

|                          |   |  |         |   |
|--------------------------|---|--|---------|---|
| 1. 科目名 (単位数)             | 精神保健福祉援助技術論 (4単位)   |  | 3. 科目番号 | SCMP3111  |
| 2. 授業担当教員                | 長谷川 行雄  |  |         |   |
| 4. 授業形態                  | 講義、グループ討論   |  | 5. 開講学期 | 春期  |
| 6. 履修条件・他科目との関係          |   |  |         |   |
| 7. 講義概要                  | <p>精神科ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱを受けて、精神障害者に対する援助方法や実践の基本を学ぶ。また、精神医学や精神科リハビリテーションの概念を踏まえて、精神障害者への相談援助に対する基本的な考え方や相談援助技術の展開を学ぶ。さらに、社会資源の活用方法、ケアマネジメント、コミュニティワークの実際と、保健・医療・福祉等にわたる包括的な支援の意義と展開を学ぶ。</p> <p>本授業の終了後には以下を理解していることが期待される。</p> <p>①精神医療の特性と精神障害者に対する支援の基本的考え方について<br/> ②精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について<br/> ③精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識と技術及び活用方法について<br/> ④精神障害者を対象とした相談援助技術の展開について<br/> ⑤精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について<br/> ⑥地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワークの実際について<br/> ⑦地域生活を支援する保健・医療・福祉等の包括的な支援の意義と展開について</p> |  |         |   |
| 8. 学習目標                  | <p>以下の点を学習の目標とする。</p> <p>①精神保健医療福祉の歴史と動向について説明できる<br/> ②精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識を身に付ける<br/> ③精神科リハビリテーションの概念と構成、精神科リハビリテーションのプロセスについて説明できる<br/> ④医療機関における精神科リハビリテーションの展開とチーム医療における精神保健福祉士の役割を学ぶ<br/> ⑤相談援助の過程及び対象者との援助関係、面接技術を理解し、援助活動の展開を身に付ける<br/> ⑥家族調整・支援の実際を学ぶ<br/> ⑦スーパービジョンとコンサルテーションについて理解する<br/> ⑧地域移行について理解する<br/> ⑨地域を基盤にした相談援助、リハビリテーションの基本的考え方、ネットワーキングについて理解する<br/> ⑩精神障害者のケアマネジメントを学ぶ</p>   |  |         |   |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | <p>課題レポート①<br/> 「精神保健福祉の歴史をふまえ、わが国における精神保健福祉士の役割と課題について述べなさい。」<br/> 課題レポート②<br/> 「精神疾患を有する者の保護およびメンタルヘルス改善のための諸原則をふまえ、昨今の事例について考察を述べなさい」<br/> 課題レポート③<br/> 「地域を基盤とした支援のあり方について多角的な視点を含めて述べなさい」<br/> 授業の中で課題については変更する場合もある。</p>  |  |         |   |
| 10. 教科書・参考書・教材           | <p>【教科書】<br/> 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『精神保健福祉士養成セミナー4 第6版「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ」』へるす出版。</p>   |  |         |   |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法        | <p>○成績評価の規準<br/> 1. 精神保健福祉士の相談援助に必要な諸理論を実践に照らし合わせながら理解している。<br/> 2. 授業時に課される課題等について積極的に実行し、期限を守り提出している。<br/> 3. 講義を聞く姿勢、グループディスカッションへの参加等、授業に積極的に参加している。</p> <p>○評定の方法<br/> 1 期末試験 : 総合点の60%<br/> 2 授業時に課される課題 : 総合点の20%<br/> 3 授業への積極的参加態度 : 総合点の20%</p>   |  |         |   |
| 12. 受講生へのメッセージ           | <p>精神科ソーシャルワーク論Ⅰ、Ⅱで学んだ知識と技術の概要をさらに深く学び、実践に結びつけることができる内容とします。理論を踏まえグループワークや、ロールプレイなど積極的な授業への参加を求めます。</p>   |  |         |   |
| 13. オフィスアワー              | 別途連絡する  |  |         |   |
| 14. 授業展開及び授業内容           |   |  |         |   |
| 講義日程                     | 授業内容  |  | 学習課題    |   |
| 第1回                      | オリエンテーション<br>第1章 障害者福祉の理念と精神障害者の人権：障害者福祉の理念と精神障害  |  | 事前学習    | 障害者とはどのような人をいうのか、障害者福祉とはどのようなことをいうのかについて、自分の考えをまとめる |
|                          |   |  | 事後学習    | ディスカッションの振り返り、障害者福祉の理念を整理すること                       |

|      |   |      |   |
|------|---|------|---|
| 第2回  | 障害者福祉の理念と精神障害者の人権：<br>障害者福祉の理念と精神障害2                          | 事前学習 | 障害者に対する理念を実現するためにどのような視点を持つべきか自分の意見を整理すること                    |
|      |   | 事後学習 | 教科書に記載されている障害者に対する理念と精神保健福祉士の実践を整理すること                        |
| 第3回  | 障害者福祉の理念と精神障害者の人権：<br>精神障害者の人権1                               | 事前学習 | 教科書を読み、国連原則とは何かをまとめること  |
|      |   | 事後学習 | 精神障害者の生活を考慮し、国連原則やインフォームドコンセントについてまとめること                      |
| 第4回  | 障害者福祉の理念と精神障害者の人権：<br>精神障害者の人権2                               | 事前学習 | 我が国における精神医療の現実を調べておくこと  |
|      |   | 事後学習 | 我が国の精神医療で生じた人権問題を整理し、地域での精神障害者の人権について考察すること                   |
| 第5回  | 精神障害者の人権：<br>障害者権利条約の理念                                       | 事前学習 | 教科書を読み、障害者の権利条約についてまとめること                                     |
|      |   | 事後学習 | 我が国の精神障害者の人権が障害者の権利条約によってどのように守られているのかをまとめること                 |
| 第6回  | 精神障害者の人権：<br>精神障害及び精神障害者                                      | 事前学習 | 精神障害と精神障害者の関係をよく調べて理解すること                                     |
|      |   | 事後学習 | 授業で学んだ精神障害者の人権侵害について、事例を含めて考察すること                             |
| 第7回  | 第2章 精神保健福祉の歴史と理念：精神保健福祉の概念・歴史・理念                              | 事前学習 | 精神医学、精神科リハビリテーション学、精神科ソーシャルワーク論Iで学んだ歴史を整理しておくこと               |
|      |   | 事後学習 | 今日の我が国の精神保健福祉施策への影響を考察するとともに、今日求められている精神障害者の地域支援の意義についてまとめること |
| 第8回  | 精神保健福祉の歴史と理念：精神保健福祉の現状  | 事前学習 | 我が国の入院者数、入院日数、精神科病床数等精神障害者のおかれている現状を調べること                     |
|      |   | 事後学習 | 授業を振り返り、我が国の精神障害者施策に対する諸外国の批判をまとめること                          |
| 第9回  | 第3章 精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの歴史：イギリスにおけるソーシャルワークの歴史と精神保健のかかわり    | 事前学習 | 教科書を読み、イギリスにおけるソーシャルワークの歴史についてまとめること                          |
|      |   | 事後学習 | イギリスにおける精神保健領域でのソーシャルワークの発展をまとめること                            |
| 第10回 | 精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの歴史：アメリカにおける精神保健福祉分野のソーシャルワーク発展の歴史       | 事前学習 | 教科書を読み、アメリカにおけるソーシャルワークの歴史についてまとめること                          |
|      |   | 事後学習 | アメリカにおける精神保健領域でのソーシャルワークの発展をまとめること                            |
| 第11回 | 精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの歴史：日本におけるソーシャルワークの歴史と精神保健のかかわり1         | 事前学習 | 我が国における精神保健福祉の黎明期から現在までの流れを理解すること                             |
|      |   | 事後学習 | 我が国における精神保健福祉士の黎明期から現在に至るまでをまとめること                            |
| 第12回 | 精神保健福祉の領域におけるソーシャルワークの歴史：日本におけるソーシャルワークの歴史と精神保健のかかわり2         | 事前学習 | 我が国の精神保健福祉の新たな動向を理解すること                                       |
|      |   | 事後学習 | 精神保健福祉士が国家資格となった経過と当時の精神保健福祉の動向を、精神科ソーシャルワーク論で学んだ知識をもとにまとめること |
| 第13回 | 第4章 精神保健福祉士の理念と意義：国家としての精神保健福祉士の意義                            | 事前学習 | 教科書「国家資格としての精神保健福祉士の意義」を読み、精神保健福祉士が持つべき理念や存在する意義についてまとめること    |
|      |   | 事後学習 | 精神保健福祉士の持つべき理念と存在意義について自己の考えをまとめ、合わせて精神保健福祉士の専門性について考察すること。   |
| 第14回 | 精神保健福祉士の理念と意義：国家としての精神保健福祉士の専門性と倫理                            | 事前学習 | 前回の授業を振り返り、精神保健福祉士の意義をまとめること                                  |
|      |   | 事後学習 | 前回の授業に加えて、精神保健福祉士の果たしてきた意義や今後果たすべき役割について考えること                 |
| 第15回 | 精神保健福祉士の理念と意義：精神保健福祉士倫理綱領                                     | 事前学習 | 教科書「精神保健福祉士の専門性と倫理」を読み、精神保健福祉士倫理綱領作成のきっかけとなったY問題について整理すること。   |
|      |   | 事後学習 | 精神保健福祉士倫理綱領のポイントをつかみ、繰り返し読むこと。                                |
| 第16回 | 第5章 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程精神障害者の支援モデル（治療モデル、生活モデル、ストレスモデルなど） | 事前学習 | 支援モデルにはどのようなものがあるのか調べてくること。                                   |
|      |   | 事後学習 | 学んだ支援モデルについてまとめること。   |
| 第17回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：ソーシャルワークの展開過程（受理面接と契約）1               | 事前学習 | 教科書を読み、ソーシャルワークの流れを調べておくこと                                    |
|      |   | 事後学習 | 授業を振り返り、受理面接で確認すべきことを整理すること                                   |

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| 第18回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：ソーシャルワークの展開過程（受理面接と契約）2                | 事前学習 | 受理面接（インテーク）とは何をする事なのかを教科書から理解しておくこと  |
|      |  | 事後学習 | 授業を振り返りジェノグラム、エコマップの書き方を確認すること   |
| 第19回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：ソーシャルワークの展開過程（アセスメントと支援計画）             | 事前学習 | ソーシャルワークの展開過程のうちアセスメントの内容と方法について、精神科ソーシャルワーク論の教科書を読み、理解しておくこと  |
|      |  | 事後学習 | 教科書にあるインテークに係る事例を読み、事例のインテーク、アセスメントを試みること  |
| 第20回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：<br>ソーシャルワークの展開過程（支援の実際、経過観察、支援の評価、終結） | 事前学習 | 教科書を読み、経過観察のポイント、評価方法、終結をする場合の条件を調べておくこと   |
|      |  | 事後学習 | 支援の評価方法を理解するとともに、終結する場合の留意点についてまとめること  |
| 第21回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：ソーシャルワーク面接                             | 事前学習 | 教科書を読み、構造化された面接と生活場面面接の違いをまとめておくこと   |
|      |  | 事後学習 | 授業を振り返り、具体的な面接の技術を整理すること   |
| 第22回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：個別支援                                   | 事前学習 | 教科書を読み、パターンリズムとは何かを理解するとともに、事例を読んでおくこと   |
|      |  | 事後学習 | 授業を振り返り、ソーシャルワークの展開過程に沿って事例をまとめること   |
| 第23回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：グループを活用した支援                            | 事前学習 | 教科書を読み、グループの展開過程、グループの特徴、セルフヘルプグループについてまとめること  |
|      |  | 事後学習 | 授業を振り返り、デイケアや家族支援といったグループの実践を整理すること  |
| 第24回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：地域を対象とした支援                             | 事前学習 | 地域を対象とする支援とは何かを教科書を使い理解すること  |
|      |  | 事後学習 | 直接援助と間接援助の違いを理解し、具体的な例を考えてみる   |
| 第25回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：災害時における精神保健福祉士の役割、スーパービジョンとコンサルテーション   | 事前学習 | 災害時における援助のポイントをまとめること。また、教科書「スーパービジョンとコンサルテーション」を読み、スーパービジョンとコンサルテーションの概念を理解し、実習で受けたスーパービジョンを思い出し、スーパービジョンが自己に与えた影響を考察すること |
|      |  | 事後学習 | スーパービジョンとコンサルテーションの違いを明確にすること。ケアマネジメントに関する配布資料を見直し、手順を確認すること   |
| 第26回 | 精神保健福祉士の支援とソーシャルワーク展開過程：ケアマネジメント・地域移行への支援                      | 事前学習 | 教科書を使い、ケアマネジメントの歴史を調べておくこと   |
|      |  | 事後学習 | 授業を振り返り、地域移行支援、ケアマネジメントの流れ、有効性を理解すること  |
| 第27回 | 第6章 精神障害者のソーシャルワークと関連専門職との連携：チーム医療における精神保健福祉士の役割               | 事前学習 | 教科書を読み、チーム医療の概念を整理すること   |
|      |  | 事後学習 | チーム医療を実施する際のポイントをまとめること  |
| 第28回 | 精神障害者のソーシャルワークと関連専門職との連携：専門職の役割と機能                             | 事前学習 | 精神保健福祉士がどのような職種とチームを組む必要があるか想定すること   |
|      |  | 事後学習 | 実習先で実施されていたチーム医療（チームアプローチ）に関わっている職員の職種と役割、連携について整理すること   |
| 第29回 | 精神障害者のソーシャルワークと関連専門職との連携：チームアプローチ及び地域生活支援の理念と精神保健福祉士の役割        | 事前学習 | 地域における支援チームの要素とチームの中で精神保健福祉士が果たす役割について自己の意見をまとめること   |
|      |  | 事後学習 | 地域支援チームと医療機関でのチームの違いについて整理すること。また、地域での生活支援にかかわる職種、機関を上げ、それぞれの役割と連携のポイントを整理すること。  |
| 第30回 | 精神保健福祉援助技術論のまとめ  | 事前学習 | これまでに学んだ項目について確認をしてくること。   |
|      |  | 事後学習 | 授業で指摘したポイントについて振り返り、理解すること   |
| 期末試験 |  |      |  |